

平成17年度第1回日本物理療法学会評議員会議事録

開催日 : 平成17年5月26日(木)

開催場所 : 大阪国際会議場 会議室 806

出席者 : 青木、伊藤、奥山、加地、川村、日下、佐藤、嶋田、杉元、鈴木、武政、
千知岩、中屋、濱出、日高、藤原、両角、柳澤、山本、山元、吉崎

書記 : 内山田、高見澤

【事務局報告】

会員動向(平成17年5月18日現在)について

<一般会員> 301名

平成16年度分納入者 160名(新規会員 13名)

平成15年度分納入者 19名

平成14年度分納入者 3名

平成13年度分納入者 6名

その他 1名(学生1名)

納入者合計 161名

<賛助会員>

平成16年度分納入社 9社

【議事】

1. 平成16年度決算報告及び監査報告 承認

2. 平成17年度予算案 承認

- ・ 予算案検討に先立ち、学術大会運営方法に関して、本部から大会事務局に支払われる費用は学術集会30万円、セミナー10万円のみとすること。専門領域からの援助金はこれまでどおり。会場整理費のうち一人1,000円を専門領域にバックし、残りは大会事務局の収入とすることが確認された。
- ・ 一部訂正箇所(機器展示費150,000円削除)を修正し、追って評議員に連絡することで確認された。

3. 平成17年度事業計画

第13回日本物理療法学会学術集会について(北海道千歳リハビリテーション学院)

- ・ 評議員会開催日時を大会第1日目の午前11:00~12:30に実施すること、6月下旬に本部事務局より出欠席の確認通知を送付することで確認された。
- ・ 発表規定のうち power point によるプレゼンテーションの場合、事前に2003版、

2004 版の提示をお願いすると同時に、大会事務局も双方可能なよう準備することで確認された。

第 14 回日本物理療法学会学術集会について

- ・ 郡山健康科学専門学校 吉崎邦夫先生より会場は学校内設営し、メイン会場以外にも遠隔通信により質疑応答可能な形式を取り入れていくことを検討中である旨の報告を得た。

4. その他

収入減の対策について

- ・ 賛助会員から協賛金、寄付金の名目で収入増加を見込めるとの提案がされた。しかし、PT 協会との共催学会ということ、今後、専門領域部門との合併のことを念頭に置くと安易に協賛金を募るのは問題が生じるのではないかとの理由により今後の課題として、検討していくことが確認された。
- ・ 繰越金に多くを依存していることから、会費徴収時に未納分を通知し、回収していく方法の継続と、新規会員の増加を検討していく。（例えば、各養成校に依頼し、卒業年次に PT 協会員の加入と同じように勧誘を依頼する等）

機関誌編集について

- ・ 機関誌編集委員長の菅原仁先生より機関誌第 12 巻に関する編集作業の流れについて、確認事項があった。また、投稿論文について、本年度投稿論文が 1 編届いており、査読依頼が委員長より査読者に届く旨を報告した。

評議委員名簿について

- ・ 所属先変更の評議員から連絡先を確認し、追って評議員に連絡することで確認された。

今後の学会運営について

- ・ （社）日本理学療法士協会の学術集会が分化していくことに伴い、当学会がどのようなスタンスで関わるかについて次年度までに検討していく運びとなった。（合併するか・独立したままで行くのか等）